

# 長岡市中心市街地地区整備計画 事後評価シート

計画名： 長岡市中心市街地地区整備計画

令和6年3月

新潟県長岡市

# 1 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

## ◇整備計画の目標を定量化した定量的指標

### I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地における一日あたりの歩行者通行量は平成30年度以降減少傾向にあったが、令和5年にミライエ長岡が開業する等各種事業の実施により、令和5年度は下げ止まりとなり、回復傾向にある。</li> <li>・人づくり・学び・交流エリア(=ミライエ長岡)の年間利用者数について、令和5年度に互尊文庫及びNaDeC BASEがミライエ長岡に移転したことで、大きく増加した。</li> <li>・令和4年度は、コロナ禍があげ、対面による起業の個別相談やセミナー、イベント等の開催が再開したことにより、顔を突き合わせた密なやり取りが可能となるとともに、イベント参加者同士のネットワーク形成も促進され、事業効果が高まったことで中心市街地内の起業数の増加につながった。</li> </ul>
----------------	---

### II 定量的指標の達成状況

指標	単位	(参考)※1 計画以前の値		当初現況値		中間目標値		最終目標値		最終実績値		目標達成度 (評価)	目標値と実績値に差が出た要因		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度		目標 年度	確定・見込 みの別	評価 年度				
指標1	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量	人/日	—	—	86,282	H28	—	—	100,000	R5	65,664	確定	R5	×	平成31年2月の駅前イトーヨーカドーの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で減少傾向に転じたため。
指標2	人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数	人/年	—	—	51,691	H28	—	—	146,100	R5	301,750	見込み	R5	○	令和5年度に互尊文庫、NaDeC BASEがミライエ長岡に移転したことで、大きく利用者が増加したため。
指標3	中心市街地内の起業数	件/年	—	—	5	H29	—	—	8	R5	5	見込み	R5	×	新型コロナウイルスの影響で起業数が減少傾向に転じ、回復傾向にあったものの、目標値までは達しなかったため。

※1 計画以前の値 とは、整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

◇評価時に追加したその他の数値指標

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に互尊文庫がミライエ長岡に移転したことで(まちなか図書館(仮称)整備事業)、都市的サービス提供機会が向上した。</li> <li>店ちか駐輪場設置社会実験事業により、路上駐輪場及び路面標示設置に関する知見が蓄積した。</li> <li>まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業により、公共サインの再整備について検討が進んだ。</li> </ul>
----------------	---

Ⅳ その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)の達成状況

指標	単位	(参考)※1 計画以前の値		当初現況値		最終実績値			評価	本指標を取り上げる理由	
		基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	確定・見込みの別	評価年度				
その他の数値指標1	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(休日)	人	—	—	75,913	H27	127,093	確定	R5	○	各種事業により中心市街地の回遊性が高まったことを証明する。
その他の数値指標2	CLIP長岡の相談件数	件/年	—	—	169	H26	379	見込み	R5	○	産学連携情報交流センター(仮称)整備事業により、起業に対する意識が高まったことを証明する。
その他の数値指標3											
その他の数値指標4											

※1 計画以前の値とは、社会資本総合整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

Ⅴ 特記事項(今後の方針等)

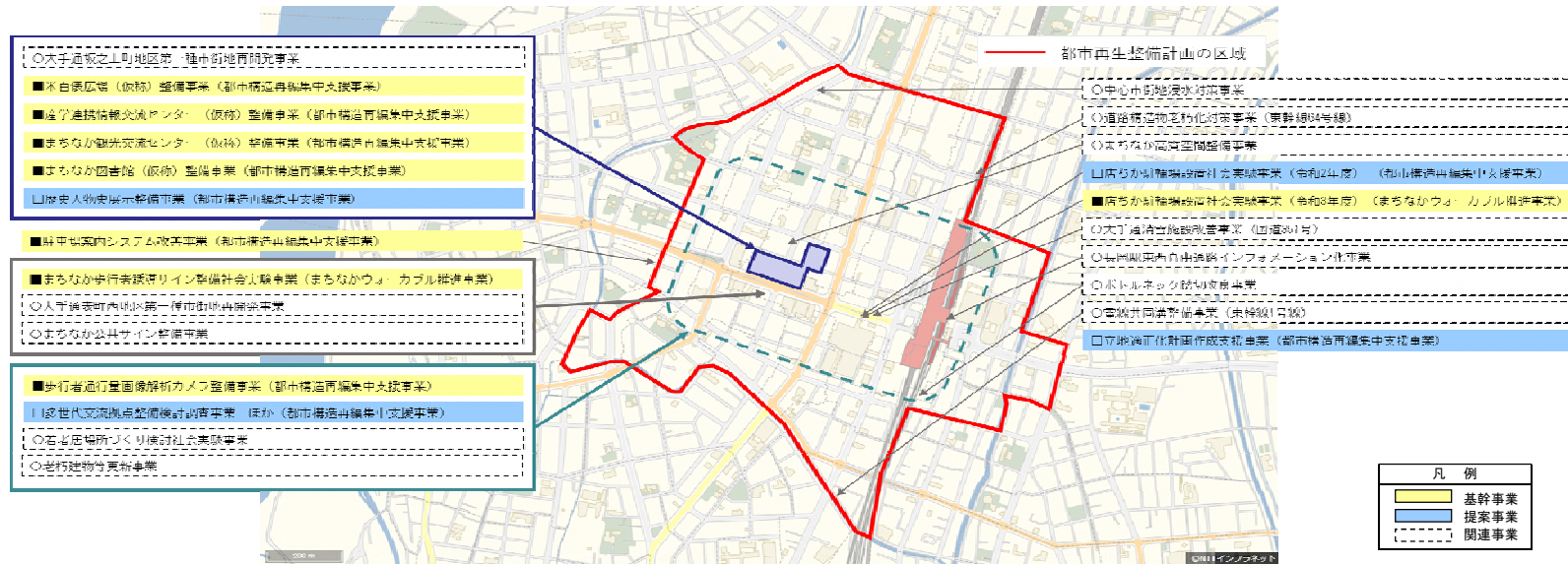
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点としてミライエ長岡を位置づけ、中心市街地における市民の居場所づくりだけでなく、若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を引き続き実施する。</li> <li>ミライエ長岡の開業で充実した「教育」、「歴史」、「文化」に関する都市的サービスの利用を全市で促進していく。</li> <li>中心市街地全体でも回遊性を高める取り組みを実施する。</li> <li>自転車利用者に対する啓蒙活動を推進する。</li> <li>民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。</li> <li>公共交通利用者のニーズに合わせた決済方法を検討する。</li> </ul>
---

## 2 計画事業の概要

### 長岡市中心市街地地区整備計画 計画事業の成果概要

計画期間	平成30年度 ~ 令和4年度	全体事業費	2,949.90 百万円	計画策定主体	長岡市	事業実施主体	長岡市
------	----------------	-------	--------------	--------	-----	--------	-----

#### ■事業実施箇所



#### ■事業に関する写真



米百俵広場（仮称）整備事業  
（都市構造再編集中支援事業）



まちなか観光交流センター（仮称）整備事業  
（都市構造再編集中支援事業）



産学連携情報交流センター（仮称）整備事業  
（都市構造再編集中支援事業）



まちなか図書館（仮称）整備事業  
（都市構造再編集中支援事業）



店ちか駐輪場設置社会実験事業  
（都市構造再編集中支援事業・まちなかウォークラブル推進事業）

### 3 主な事業の概要及び効果

■事業(又は事業名)	【事業概要】
まちなか図書館(仮称)整備事業	長岡市初の公立図書館である「互尊文庫」を移転拡充し、まちなかの利便性向上及び若者から高齢者まで多くの市民で賑わう中心市街地の新たな交流拠点を整備するもの。
【当該事業による効果】	
令和5年度にミライエ長岡が開業し、互尊文庫が移転したことで、多くの市民に利用されることとなり、中心市街地における市民の居場所づくりの一助となった。また、移転により「教育」に関する都市的サービスを楽しむやすくなった。	

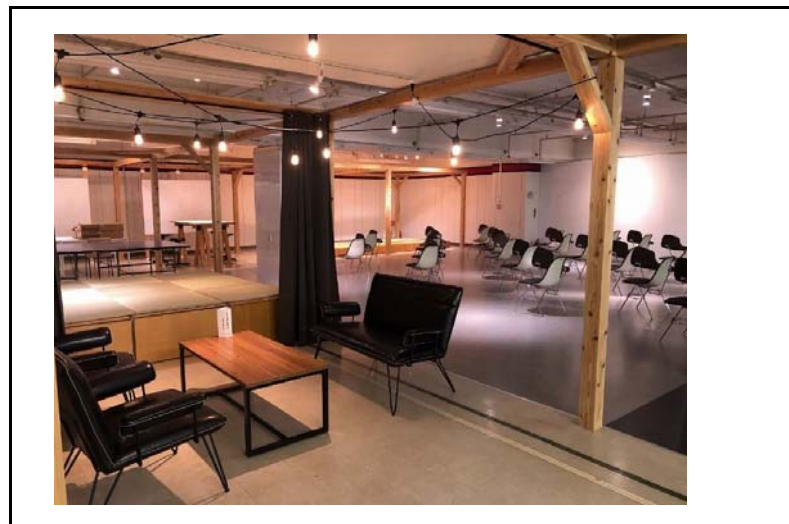


整備前

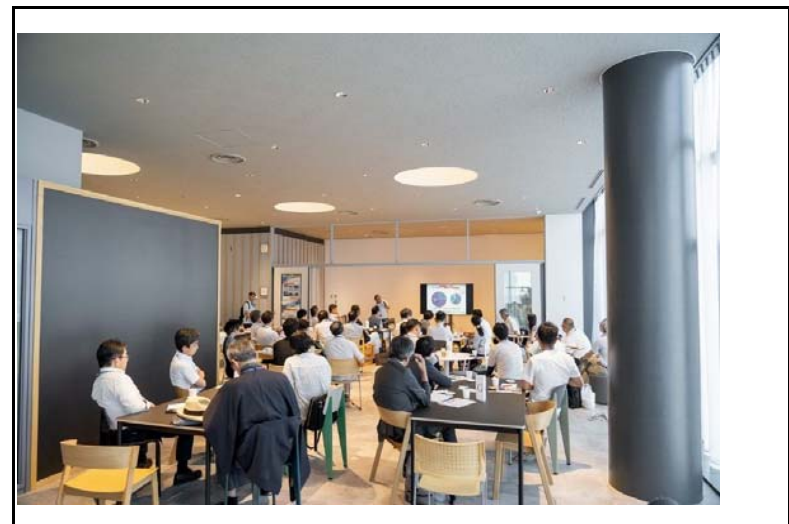


整備後

<p>■事業(又は事業名)</p>	<p>【事業概要】</p>
<p>産学連携情報交流センター(仮称)整備事業</p>	<p>市民センター地下からミライエ長岡5階に「NaDeC BASE」を移転・拡充。地場産業振興やその活性化を目的とし、市内の高等教育機関、産業界、金融機関、行政が連携し、地域資源を活かした新たな産業を生み出す。</p>
<p>【当該事業による効果】</p>	
<p>NaDeC BASEがミライエ長岡に移転し、利用者が増え、新たな産業の創出や起業に寄与するような、人的交流の機会が増大した。</p>	



整備前



整備後

## 4 個別事業の成果(効果発現要因の整理)

### 1 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

#### ◇整備計画の目標を定量化した定量的指標

指標の種別		定量的指標2							
指標名		人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	都市構造再編集中支援事業: 駐車場案内システム改善事業	◎	新型コロナウイルスの影響で令和2年度～令和3年度の利用者数が減少した。 令和5年度に互尊文庫及びNaDeC BASEがミライエ長岡に移転したことで、大きく利用者が増加した。						
	都市構造再編集中支援事業: 米百俵広場(仮称)整備事業	◎							
	都市構造再編集中支援事業: 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業	○							
	都市構造再編集中支援事業: まちなか観光交流センター(仮称)整備事業	○							
	都市構造再編集中支援事業: 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業	◎							
	都市構造再編集中支援事業: まちなか図書館(仮称)整備事業	◎							
	まちなかウォークラブル推進事業: 店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和3年度)	○							
提案事業	まちなかウォークラブル推進事業: まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業	○							
	都市構造再編集中支援事業: 歴史人物史展示整備事業	○							
	都市構造再編集中支援事業: 多世代交流拠点整備検討調査事業	◎							
	ほか	◎							
	都市構造再編集中支援事業: 立地適正化計画作成支援事業	◎							
関連事業	都市構造再編集中支援事業: 店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和2年度)	○							
	多世代交流拠点整備検討調査事業(平成28年度)	◎							
	店ちか駐輪場設置社会実験事業(平成29～30年度)	○							
	若者居場所づくり検討社会実験事業	○							
	大手通表町西地区第一種市街地再開発事業	○							
	老朽建物等更新事業	○							
	ボトルネック踏切改良事業	○							
	電線共同溝整備事業(東幹線1号線)	○							
	大手通消雪施設改善事業(国道351号)	○							
	中心市街地浸水対策事業	○							
	道路構造物老朽化対策事業(東幹線64号線)	○							
	長岡市大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業	○							
	若者のまち居場所づくり推進事業(官民連携可能性調査)	○							

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	ミライエ長岡に関する情報の発信を行うことで更なる利用者数の増加を目指す。		
-------	--------------------------------------	--	--

◇評価時に追加したその他の数値指標

指標の種別		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3		その他の数値指標4	
指標名		中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(休日)		CLIP長岡の相談件数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	都市構造再編集中支援事業:駐車場案内システム改善事業	○	平成28年11月に社会福祉センター「トモシア」がオープンしたことで、平成30年度の歩行者通行量(休日)が多くなった。平成31年2月の駅前イトーヨーカドーの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で歩行者交通量(休日)が減少傾向に転じた。コロナ禍が明け、令和5年度にミライエ長岡が開業したことで、大きく歩行者交通量(休日)が増加した。	○	長岡市や各金融機関・長岡商工会議所との連携を強みとして、安定的に相談件数を維持してきた。				
	都市構造再編集中支援事業:米百俵広場(仮称)整備事業	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:歩行者通行量画像解析カメラ整備事業	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:まちなか観光交流センター(仮称)整備事業	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:産学連携情報交流センター(仮称)整備事業	◎		◎					
	都市構造再編集中支援事業:まちなか図書館(仮称)整備事業	◎		○					
	まちなかウォーカーカブル推進事業:店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和3年度)	◎		○					
提案事業	まちなかウォーカーカブル推進事業:まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:歴史人物史展示整備事業	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:多世代交流拠点整備検討調査事業	◎		◎					
	ほか	◎		○					
	都市構造再編集中支援事業:立地適正化計画作成支援事業	◎		○					
関連事業	都市構造再編集中支援事業:店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和2年度)	◎		○					
	多世代交流拠点整備検討調査事業(平成28年度)	◎		◎					
	店ちか駐輪場設置社会実験事業(平成29~30年度)	◎		○					
	若者居場所づくり検討社会実験事業	◎		-					
	大手通表町西地区第一種市街地再開発事業	◎		-					
	老朽建物等更新事業	○		-					
	ボトルネック踏切改良事業	○		-					
	電線共同溝整備事業(東幹線1号線)	○		-					
	大手通消雪施設改善事業(国道351号)	○		-					
	中心市街地浸水対策事業	○		-					
	道路構造物老朽化対策事業(東幹線64号線)	○		-					
	長岡市大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業	◎		-					
	若者のまちなか居場所づくり推進事業(官民連携可能性調査)	◎		-					

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	ミライエ長岡に関する情報の発信、アオーレ長岡、まちなかキャンパス等、ミライエ長岡以外の場所でのイベント開催及び情報発信、各施設間で連携したイベント等の回遊性を高める取り組みを実施する。	引き続き情報発信等を行い、CLIP長岡への相談を誘導する。		
-------	--	-------------------------------	--	--



2 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		定量的指標1			定量的指標3								
指標名		中心市街地における一日あたりの歩行者通行量			中心市街地内の起業数								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	都市構造再編集中支援事業: 駐車場案内システム改善事業	△	平成28年11月に社会福祉センター「トモシア」がオープンしたことで、平成29、30年度は目標数を達成した。平成31年2月の駅前イトーヨーカドーの閉店、令和2年1月以降の新型コロナウイルスの影響で歩行者数が減少傾向に転じた。中心市街地における一日あたりの歩行者通行量は平成30年度以降減少傾向にあったが、令和5年にミライエ長岡が開業する等各種事業の実施により、令和5年度は下げ止まりとなり、回復傾向にある。	分類Ⅲ	△	令和元年度は、平成30年度から、4大学1高専を中心とした学生、若者をターゲットとした起業支援施策を重点的に講じてきたことにより、中心市街地内の起業数が順調に増加した。新型コロナウイルスの影響で令和2年度～令和3年度の起業数が減少した。令和4年度は、コロナ禍があげ、対面による起業の個別相談やセミナー、イベント等の開催が再開したことにより、顔を突き合わせた密なやり取りが可能となるとともに、イベント参加者同士のネットワーク形成も促進され、事業効果が高まったことで起業数の増加につながった。上記の通り、コロナ禍があけた後は回復傾向にあったものの、目標値達成には至らなかった。	分類Ⅲ						
	都市構造再編集中支援事業: 米百俵広場(仮称)整備事業	△			-								
	都市構造再編集中支援事業: 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業	△			△								
	都市構造再編集中支援事業: まちなか観光交流センター(仮称)整備事業	△			△								
	都市構造再編集中支援事業: 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業	△			△								
	都市構造再編集中支援事業: まちなか図書館(仮称)整備事業	△			△								
	まちなかウォーカーカブ推進事業: 店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和3年度)	△			△								
まちなかウォーカーカブ推進事業: まちなか歩行者誘導サイン整備社会実験事業	△	△											
提案事業	都市構造再編集中支援事業: 歴史人物史展示整備事業	△			-								
	都市構造再編集中支援事業: 多世代交流拠点整備検討調査事業ほか	△			△								
	都市構造再編集中支援事業: 立地適正化計画作成支援事業	△			△								
	都市構造再編集中支援事業: 店ちか駐輪場設置社会実験事業(令和2年度)	△			△								
		△			△								
関連事業	多世代交流拠点整備検討調査事業(平成28年度)	△			△								
	店ちか駐輪場設置社会実験事業(平成29～30年度)	△			△								
	若者居場所づくり検討社会実験事業	△			-								
	大手通表町西地区第一種市街地再開発事業	△			-								
	老朽建物等更新事業	△			-								
	ボトルネック踏切改良事業	△			-								
	電線共同溝整備事業(東幹線1号線)	△			-								
	大手通消雪施設改善事業(国道351号)	△			-								
	中心市街地浸水対策事業	△			-								
	道路構造物老朽化対策事業(東幹線64号線)	△			-								
	長岡市大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業	△			-								
若者のまち居場所づくり推進事業(官民連携可能性調査)	△	-											

※目標未達成への影響度  
 ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 -: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針	ミライエ長岡に関する情報の発信、アオーレ長岡、まちなかキャンパス等、ミライエ長岡以外の場所でのイベント開催及び情報発信、各施設間で連携したイベント等の回遊性を高める取り組みを実施する。	ミライエ長岡を将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点として位置づけ、引き続き若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を引き続き実施する。		
-------	--	--	--	--

## 5 今後の社会資本整備の方策

### 1 課題の変化

事業前の課題 (整備計画に記載した課題)	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
アオーレ長岡やまちなかキャンパスなど個々の施設利用者は増加しているが、中心市街地全体への人の回遊性が乏しい。 このため、大手通表町東地区においては、新たな「まちなか型公共サービス」を導入し、アオーレ長岡周辺と相互に連携する「新たな核づくり」に取組み、まちなかでの商業機能の拡充や回遊の仕掛けづくり、居場所づくりが必要である。	令和5年度にミライエ長岡が開業し、互尊文庫及びNaDeC BASEが移転し拡張されたことで、多くの市民に利用されることとなり、中心市街地における市民の居場所づくりの一助となった。	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量(平日)は、平成27年度～令和5年度の間で最も多かった平成29年度の6割程度となっており、中心市街地内での回遊が十分とは言えない。	
中心市街地に不足している都市的サービス(「教育」、「歴史」、「文化」など)を導入し、都市的機能を充実させることにより、まちなかのにぎわいを全市へと波及することが求められている。	・令和5年度のミライエ長岡開業に伴い、互尊文庫が同施設内に移転したことで、「教育」に関する都市的サービスを享受しやすくなった。 ・ミライエ長岡に「しるみる米百俵」、第四北越銀行に「第四北越ミュージアム」が新設されたことで、「歴史」、「文化」を伝える都市的サービスも充実した。	取組の全市へのさらなる波及。	—
来街者に対してやさしい交通の誘導、利便性の高い公共交通が必要である。	店ちか駐輪場設置社会実験事業(駐車枠や路面標示)により、歩行者の安全確保の効果を検証した。	・まちなかの駐車場において、利便性向上及び円滑な誘導を推進する。 ・公共交通において、キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性向上を図る。	
人口減少、少子高齢化社会を迎え、これからは将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点が必要である。(技術革新によって長岡の産業を活性化し、若者が起業・創業できるまち)	・NaDeC BASEがミライエ長岡に移転し、利用者が増え、新たな産業の創出や起業に寄与するような、人的交流の機会が増大した。 ・ミライエ長岡において、ミライエクリエイティブキッズなど、子どもの創造力育成に関する取組が盛んに実施された。	中心市街地での起業数のさらなる増加。	

## 2 具体的な方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	市民の居場所づくり	ミライエ長岡を中心とし、中心市街地における市民の居場所づくりを引き続き実施する。	・ミライエ長岡に関する情報の発信 ・ミライエ長岡東館の整備
	歩行者の安全確保	・自転車利用者に対する啓蒙活動を推進する。 ・民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。	・駐輪場の設置 ・駐車場案内システムの導入、案内表示板の改修
	将来を担う子供や若者の活躍に向けた取組	ミライエ長岡を将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点として位置づけ、引き続き若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を実施する。	・ミライエクリエイティブキッズなど各種イベント・事業の情報発信 ・起業・創業に係るイベントの実施 ・東館に中高生の居場所であるティーンズラボ(仮称)を整備 ・ミライエ長岡東館の整備

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	中心市街地内の回遊性の向上	中心市街地全体でも回遊性を高める取り組みを実施する。	・アオーレ長岡、まちなかキャンパス等、ミライエ長岡以外の場所でのイベント開催及び情報発信 ・各施設間で連携したイベント・取組の実施
	都市的サービス(「教育」、「歴史」、「文化」など)に関する取組の全市へのさらなる波及	ミライエ長岡の開業で充実した「教育」、「歴史」、「文化」に関する都市的サービスの利用を全市で促進していく。	・市内小学校の校外学習による利用促進 ・ミライエ長岡でのイベント開催及び情報発信 ・ミライエ長岡東館の整備
	まちなかの駐車場の利便性向上及び円滑な誘導	・自転車利用者に対する啓蒙活動を推進する。 ・民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。	・駐輪場の設置 ・駐車場案内システムの導入、案内表示板の改修
	公共交通へのキャッシュレス決済の導入	公共交通利用者のニーズに合わせた決済方法を検討する。	新しい技術を活用した、公共交通キャッシュレス決済事業
	中心市街地での起業数のさらなる増加	ミライエ長岡を将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点として位置づけ、引き続き若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を実施する。	・ミライエクリエイティブキッズなど各種イベント・事業の情報発信 ・起業・創業に係るイベントの実施 ・東館に中高生の居場所であるティーンズラボ(仮称)を整備 ・ミライエ長岡東館の整備

### 3 今後の社会資本整備の方策

- ・将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点としてミライエ長岡を位置づけ、中心市街地における市民の居場所づくりだけでなく、若者の起業・創業に繋がる取組や子供の創造性を育てる取組を引き続き実施する。
- ・ミライエ長岡の開業で充実した「教育」、「歴史」、「文化」に関する都市的サービスの利用を全市で促進していく。
- ・中心市街地全体でも回遊性を高める取り組みを実施する。
- ・自転車利用者に対する啓蒙活動を推進する。
- ・民間駐車場の管理者に対して、PR活動を推進する。
- ・公共交通利用者のニーズに合わせた決済方法を検討する。
- ・駐車場案内システムにおいて、スマートフォンによる地図上の案内と、案内表示板による道路上の案内を差別化したシステムを検討し、利用者の利便性向上を図る。

■記入にあたっては、以下の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input checked="" type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなった課題(整備計画)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(個別事業の成果)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(個別事業の成果)を再確認した。
<input checked="" type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(今後の社会資本整備の方策)を再確認した。

## 6 フォローアップ計画

### ◇整備計画の目標を定量化した定量的指標

指標		単位	当初現況値		最終目標値		最終実績値			目標達成度 (評価)	1年以内の 達成見込み (見込値の場合)	
			基準 年度		目標 年度		確定・見 込みの別	評価 年度	あり		-	
指標1	中心市街地における一日あ たりの歩行者通行量	人/日	86,282	H28	100,000	R5	65,664	確定	R5	×	あり	-
指標2	人づくり・学び・交流エリア(仮 称)の年間利用者数	人/年	51,691	H28	146,100	R5	301,750	見込み	R5	○	あり	●
指標3	中心市街地内の起業数	件/年	5	H29	8	R5	5	見込み	R5	×	あり	●
指標4											あり	
											なし	



フォローアップ計画	
予定時期	確定値の計測方法
-	-
令和6年秋頃	令和5年度の年間利用者数を集計し、確定値として求める。
令和6年秋頃	令和5年度の起業数を集計し、確定値として求める。

### ◇評価時に追加したその他の数値指標

指標		単位	当初現況値		最終実績値			評価	1年以内の 達成見込み (見込値の場合)	
			基準 年度		確定・見 込みの別	評価 年度	あり		-	
その他の 数値指標1	中心市街地における一日あ たりの歩行者通行量(休日)	人	75,913	H27	127,093	確定	R5	○	あり	-
その他の 数値指標2	CLIP長岡の相談件数	件/年	169	H26	379	見込み	R5	○	あり	●
その他の 数値指標3									あり	
その他の 数値指標4									あり	
									なし	



フォローアップ計画	
予定時期	確定値の計測方法
-	-
令和6年秋頃	令和5年度の相談件数を集計し、確定値として求める。

## 7 評価の公表及び委員会について

### 1 評価委員会に関すること

委員構成		実施時期	担当部署
学識経験のある委員	大塚 悟(長岡技術科学大学 教授) 柏原 信幸(長岡造形大学 准教授)	令和6年2月1日	土木部土木政策調整課
その他の委員	宮下 由加里 長岡商工会議所女性会 会長 佐藤 敏明 長岡観光コンベンション協会 専務理事 土屋 博司 長岡市ハイヤー協会 事務局長 矢澤 康子 株式会社未来サポート 取締役 佐藤 佳代 長岡福祉協会 ケアハウス小千谷さくら 施設長		

今後の社会資本整備について審議	今後の社会資本整備方策の作成	・ソフト事業の充実や民間活力の活用、若い世代を巻き込んだ魅力あるまちづくりを期待する意見があった。
	フォローアップ計画	特になし
	その他	特になし
	今後の社会資本整備の方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくりの方策は妥当であると認められた。
その他		特になし

### 2 今後の公表に関すること

公表方法	具体的方法	公表期間・公表予定日
インターネット	市のホームページに掲載	公表期間:無期限 公表予定日:令和6年秋頃
広報掲載・回覧・個別配布		
説明会・ワークショップ		
その他		

# 都市再生整備計画(第4回変更)

ながおかしちゅうしんしがいち  
長岡市中心市街地地区

にいがたけん ながおかし  
新潟県 長岡市

令和5年2月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	■

## 目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ながおかし 長岡市	地区名	長岡市中心市街地地区	面積	96.3 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度				

### 目標

長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。

長岡市中心市街地活性化基本計画 (第2期計画)

(テーマ)

みんなが創るまちなかの価値 ~ 誰もが楽しみ安心できる場所、誰もがつながり育てるまち ~

(目標)

- ①長岡を代表し、まちの活力を牽引する → 中心市街地が高質で先進的なサービスを生産・発信する場として長岡をリードし、市域全体の牽引役となる。
- ②多様な機能と多世代が集まる → まちなかに不足する機能や市民ニーズの高い多様な機能を導入・強化し、子どもから高齢者まで多くの人が気軽に楽しみ交流できる場所づくりを行う。
- ③日常と非日常が交わり楽しむ → 中心市街地全体が、さらに日常的に時間を過ごせる場所、魅力あふれる暮らしの場所となり、イベント等の非日常としても楽しめる場所づくりを行う。

### 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

本市は、平成17年4月以降3度にわたる合併を経て「新長岡市」が誕生した。平成の大合併により市域が拡大する一方、中心市街地では、「まちなか型公共サービス」の幅広い導入、展開を進める「長岡市中心市街地の構造改革に関する提言」を受け、長岡広域市民の「ハレ」の場となる新しい長岡の「顔」づくりに取り組んできた。平成22年11月には、「長岡市都市計画マスタープラン」を策定。市域内に、高度な都市機能の集積を図る「都心地区」と周辺住民の暮らしを支える「地域の中心部」を形成し、幹線道路網や公共交通等を活かしたネットワークで結ぶ、長岡版「コンパクト&ネットワーク」の考え方を示した。

<長岡市都市計画マスタープランの考え方>

- |               |  |
|---------------|--|
| 将来都市像         | ・・・ 「コンパクトに絆でつなぐまちとまち 長岡」  |
| 都心地区          | ・・・ 中越地域全体のまちの活力と賑わいを創出する中心核として、商業・業務、教育・文化、行政、医療・福祉など高度な都市機能の集積を図る区域    |
| 地域の中心部        | ・・・ 住民の暮らしを支えると同時に、地域活力を創出する場として、身の回りの買物など日常生活の利便性や公共サービスの水準を適切に維持する区域   |
| 絆でつなぐ(ネットワーク) | ・・・ 自動車交通と公共交通が適切に役割分担した都市交通網を構築し、「都心地区」と「地域の中心部」、あるいは「地域の中心部」相互をしっかりと結ぶ |

本市は、上記の基本的な方針として、平成28年度に「立地適正化計画」を策定した。  
※ この考え方は、国の示す「中心拠点地域」と「生活拠点区域」に合致した考え方である。

### まちづくりの経緯及び現況

昭和50年代から60年代前半に賑わいを見せた本市の中心市街地は、平成に入るとモータリゼーションの進展や郊外部での土地区画整理事業による市街地の拡大などにより、賑わいが著しく低下し、中心市街地に立地している大規模商業施設8店舗のうち7店舗が閉店した。このような状況の中、中心市街地の構造を抜本的に見直し、まちなかに賑わいを取り戻すことを目的に、平成15年5月、学識経験者や地元住民の代表者からなる長岡市中心市街地構造改革会議を設置。将来の中心市街地のあり方について議論し取りまとめた。

本市では、この会議の主旨を活かし、「長岡市中心市街地地区都市再生整備計画(H18.3)」、「長岡市中心市街地活性化基本計画(第1期計画)(H20.11)」を策定。「まちなか型公共サービスの展開」と「市民協働によるまちづくり」を政策の両輪として、これまで中心市街地の構造改革に取り組んできたところである。この結果、本市の中心市街地は、年間135万人を超える人が「アオーレ長岡」を訪れ、「まちなかの賑わい再生」へと繋がってきている。また、本市の中心市街地の取り組みは、まち交大賞(国土交通大臣賞)を受賞するなど評価されている。

本市では、この戻りつつある賑わいを停滞させることなく、切れ目のない政策を打ち出すため、平成25年5月、学識経験者や住民の代表者からなる「まちなか創造会議」を設置。今後10年間のまちづくりについて議論し取りまとめた。この検討成果を活かし、平成26年3月、「長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)」を策定した。  
これまでにやってきた取り組みの成果から、現在の中心市街地に不足している「都市機能のさらなる更新」や「都市的サービスの展開」、「民間活力を活かしたまちづくりの展開(長岡まちなか民間活力創造研究会)」など、新たなまちづくりに向け取り組んでいる。

### 課題

- ・アオーレ長岡やまちなかキャンパスなど個々の施設利用者は増加しているが、中心市街地全体への人の回遊性が乏しい。このため、大手通表町東地区においては、新たな「まちなか型公共サービス」を導入し、アオーレ長岡周辺と相互に連携する「新たな核づくり」に取組み、まちなかでの商業機能の拡充や回遊の仕掛けづくり、居場所づくりが必要である。
- ・中心市街地に不足している都市的サービス(「教育」、「歴史」、「文化」など)を導入し、都市的機能を充実させることにより、まちなかのにぎわいを全市へと波及することが求められている。
- ・来街者に対してやさしい交通の誘導、利便性の高い公共交通が必要である。
- ・人口減少、少子高齢化社会を迎え、これからは将来を担う子どもや若者が活躍できるまちなかの拠点が必要である。  
(技術革新によって長岡の産業を活性化し、若者が起業・創業できるまち)



将来ビジョン(中長期)

長岡市総合計画(平成28年度～平成37年度)に以下項目を掲げている。

施策5 都市環境の充実  
 施策5-1 拠点性を高めるまちづくりの推進

人口減少や高齢化に対応するため、都市全体や各地域の活力を維持するとともに、生活を支える医療や福祉、商業などの都市機能を確保する拠点を形成し、市民が安心して暮らせるよう、公共交通と連携した持続可能なまちづくりを推進します。長岡の「顔」である中心市街地は、市民協働による賑わいがさらに促進され、民間企業による都市機能の更新とまちなかへの投資が誘導されるよう、活性化に向けた取組みを進めます。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

本市は、「コンパクト」と「ネットワーク」の考え方にに基づき、以下のとおり都市機能を配置する。

- ・中心市街地は、中越地域全体のまちの活力と賑わいを創出する「中心核」として、民間活力を導入しながら都市の魅力を上向きさせるため、教育・文化などの高度な都市機能の集積を図る。
- ・自動車交通と公共交通が適切に役割分担した都市交通網を構築し、都心地区と地域の中心部、あるいは地域の中心部相互をしっかりと結ぶ。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

- ・中心市街地に誘導施設として、互尊文庫(市立図書館)を移転・拡充した「まちなか図書館(仮称)」を新たに整備し、区域内の利便性、魅力を高める。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

駐車場有効利用システム(駐車場案内システム改善事業)・・・来街者に対してまちなか駐車場までの円滑な誘導をはかり、来街者の安全・安心、利便性の向上をはかる。  
 地域生活基盤施設(米百俵広場(仮称)整備事業)・・・アオーレ長岡のナカドマ等とともに、メインストリートである「大手通り」と連携し、まちの賑わい創出をはかる。  
 高質空間形成施設(情報化基盤施設:歩行者通行画像解析カメラ整備事業)・・・まちなか利用者がどのように回遊しているかを把握し、米百俵プレイス(仮称)への利用者増となる施策へつなげる。  
 高次都市施設(産学連携情報交流センター(仮称)整備事業)・・・地域振興及び活性化を目的として、市内の高等教育機関・産業界・金融機関・行政機関が連携し、地域資源を活かし、新たな産業を生み出すことを支援する。  
 高次都市施設(まちなか観光交流センター(仮称)整備事業)・・・駅前という立地を生かし地域の観光情報の提供や地域文化・歴史の紹介、地元物産の紹介や即売を行い、地区を訪れる観光客と地域住民の交流を生み出すことを支援する。  
 誘導施設(まちなか図書館(仮称)整備事業)・・・老朽化した「互尊文庫」を移転拡充し、まちなかの新たな交流拠点として整備を行うもの。

目標を定量化する指標

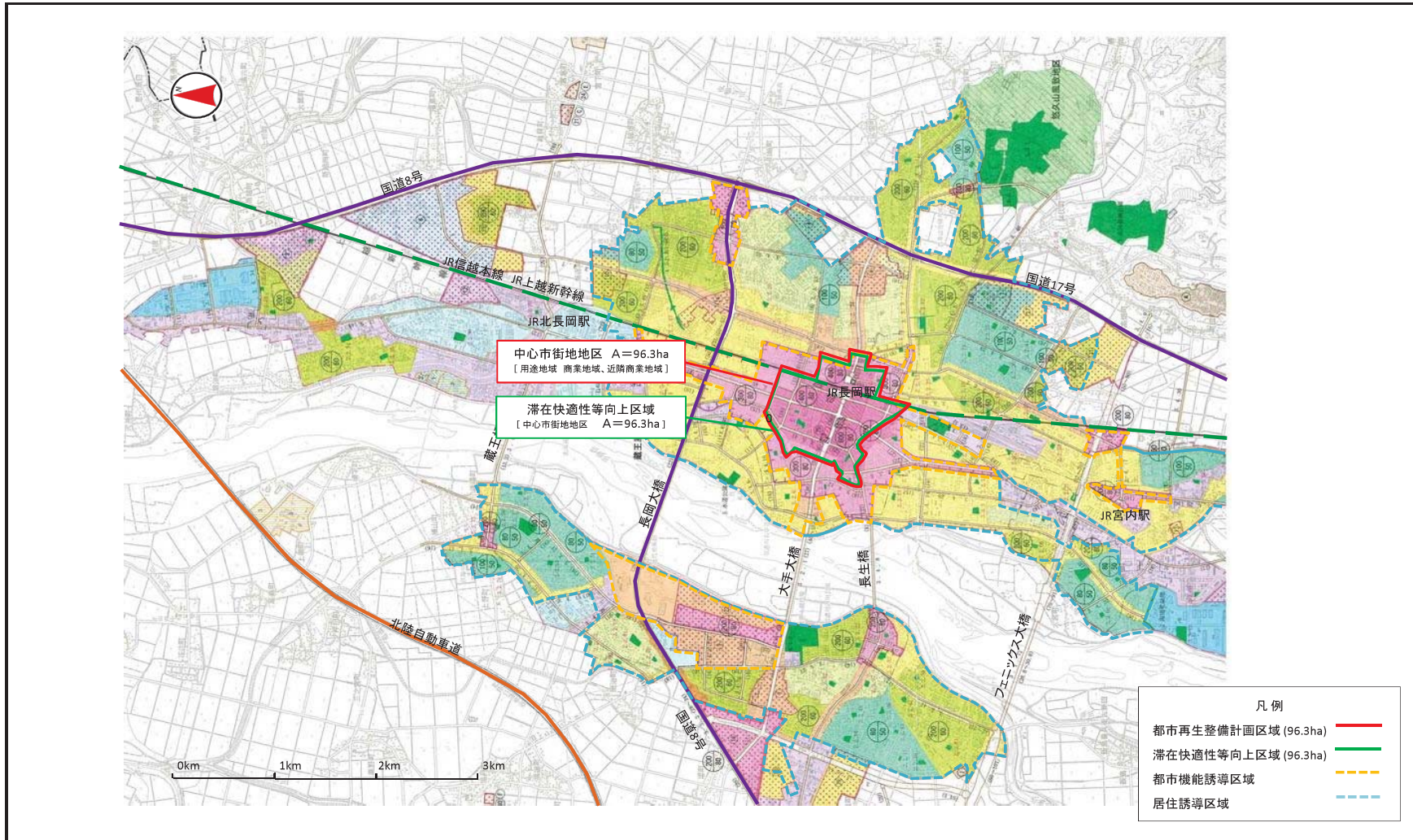
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
中心市街地における一日あたりの歩行者通行量	人	大手通りなど中心市街地主要16地点における一日あたり歩行者通行量の比較 ※従前値は平成28年10月の平日に実施した日交通量(13時間計測)	①長岡を代表し、まちの活力を牽引する ②多様な機能と多世代が集まる	86,282	H28	100,000	R5
人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数	人	移転前の市立図書館(互尊文庫)、社会実験中のNaDeC BASEと移転後のまちなか図書館(仮称)、産学連携情報交流センター(仮称)年間利用者数の比較	③日常と非日常が交わり楽しむ	51,691	H28	146,100	R5
中心市街地内の起業数	件	中心市街地における起業数の比較	①長岡を代表し、まちの活力を牽引する	5	H29	8	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りを持てる中心市街地を創出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 駐車場有効利用システム                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場案内システム改善事業</li> </ul> </li> <li>■ 地域生活基盤施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米百俵広場(仮称)整備事業</li> </ul> </li> <li>■ 高質空間形成施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者通行量画像解析カメラ整備事業(情報化基盤施設)</li> </ul> </li> <li>■ 高次都市施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学連携情報交流センター(仮称)整備事業</li> <li>・ まちなか観光交流センター(仮称)整備事業</li> </ul> </li> <li>■ 誘導施設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちなか図書館(仮称)整備事業</li> </ul> </li> </ul>
<p>その他</p>	
<p>[ まちづくりの住民参加 ]</p> <p>・ まちなか創造会議</p> <p>平成25年5月、学識経験者や幅広い分野の専門家、住民代表等により組織された本会議は、中心市街地活性化基本計画(第1期計画)の成果を評価・検証するとともに、次なる活性化の取り組みを推進させるため、今後のまちづくりの基本的な方向性を検討し、平成26年2月、新たな政策「長岡モデル」を市に提案した。                      当会議の提案は、「中心市街地活性化基本計画(第2期計画／平成26年3月28日内閣府認定)」を検討する上での指針となり、提案された事業は本計画の主要事業となっている。</p> <p>・ 特定非営利活動法人 ながおか未来創造ネットワーク</p> <p>「アオーレ長岡」を市民の視点に立って運営し、より使いやすく自由度の高い運用を図るため、市民によって組織された「市民交流ネットワークアオーレ」は、アオーレ長岡におけるこれまでの実績やノウハウを市域全体のまちづくりへと活かすため、平成26年5月にNPO法人ながおか未来創造ネットワークへ移行した。                      同年7月には長岡市中心市街地整備推進機構の指定を受け、中心市街地の関係者と連携しながら、中心市街地全体のまちづくりを推進する先導役(実施主体)として活動している。</p> <p>[ 民間活力を活かしたまちづくりの推進 ]</p> <p>・ 長岡まちなか民間活力創造研究会の立ち上げ</p> <p>平成27年5月、長岡版地方創生の一環として、長岡市と北越銀行、UR都市機構が呼びかけ人となり、中心市街地への民間プロジェクトの参入を促進することを目的に、産・官・学・金による情報交換・まちづくり研究の場として発足した。                      現在、健康・医療、文化・カルチャー、大学・専門学校、商業・観光、建設・不動産、銀行・証券など多様な分野の企業などが参画し、不動産の活用・投資や都市的サービスの展開などについて研究や意見交換を行っている。                      本研究会での研究成果等を、民間活力を活かした新たな中心拠点誘導施設の整備へとつなげていきたい。</p>	



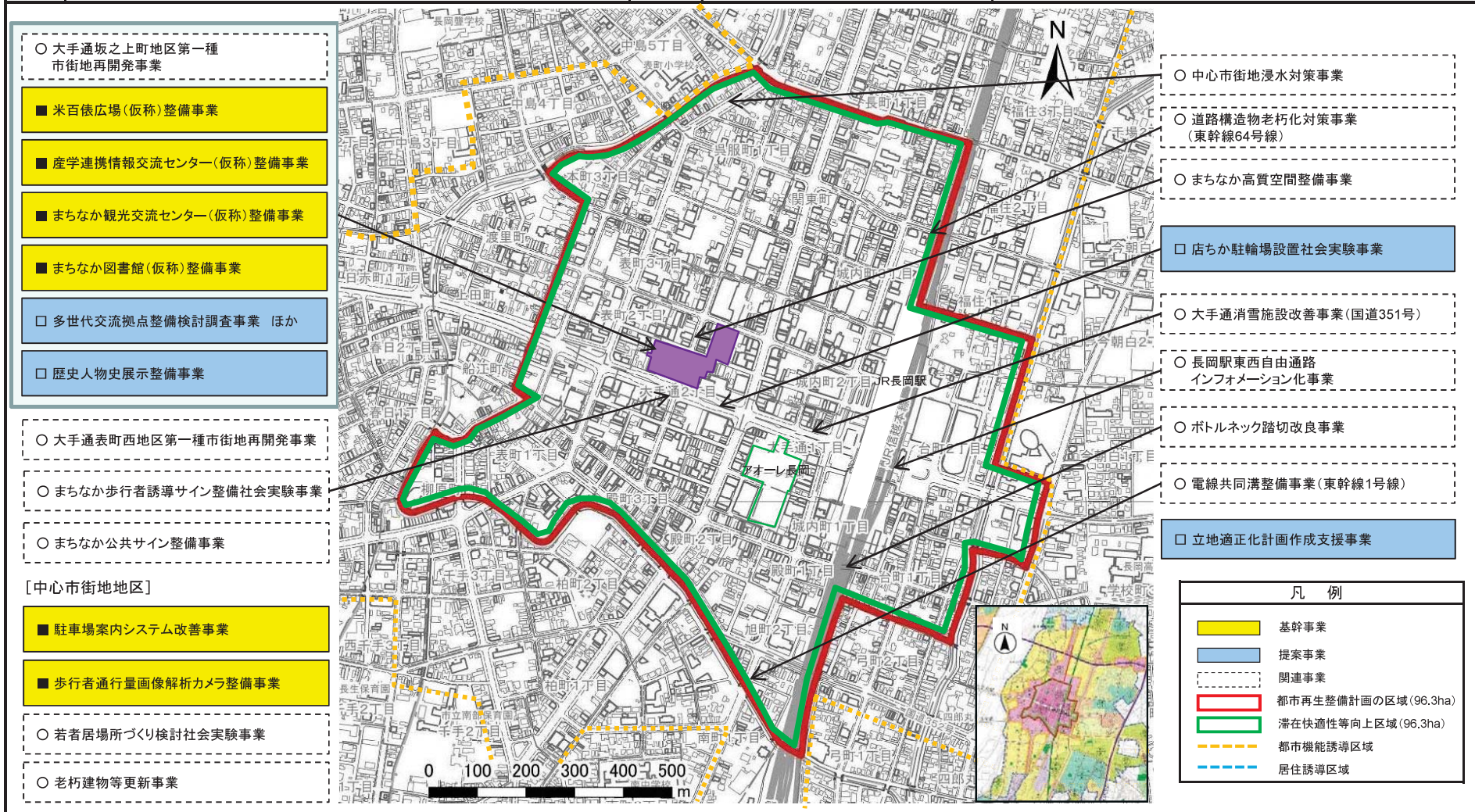


<p>長岡市中心市街地地区(新潟県長岡市)</p>	<p>面積</p>	<p>96.3 ha</p>	<p>区域</p> <p>【長岡市】                  台町1丁目、2丁目、大手通1丁目、2丁目、城内町1丁目、2丁目、3丁目、殿町1丁目、2丁目、3丁目、                  旭町1丁目、2丁目、東坂之上町1丁目、2丁目、3丁目、坂之上町1丁目、2丁目、3丁目、袋町1丁目、                  2丁目、関東町、表町1丁目、2丁目、3丁目、4丁目、本町1丁目、2丁目、3丁目、呉服町1丁目、2丁目、                  柳原町、長町1丁目、福住1丁目、今朝白1丁目</p>
---------------------------	-----------	----------------	--



長岡市中心市街地地区(新潟県長岡市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。	代表的な指標	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量 (人)	86,282	(H28年度)	→	100,000	(R5年度)
			人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数 (人)	51,691	(H28年度)	→	146,100	(R5年度)
			中心市街地内の起業数 (件)	5	(H29年度)	→	8	(R5年度)



長岡市中心市街地地区(新潟県長岡市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	長岡市中心市街地活性化基本計画(第2期計画)におけるまちづくりの目標を実現し、多くの市民で賑わい市民の誰もが誇りをもてる中心市街地を創出する。	代表的な指標	中心市街地における一日あたりの歩行者通行量 (人)	86,282	(H28年度)	→	100,000	(R5年度)
			人づくり・学び・交流エリア(仮称)の年間利用者数 (人)	51,691	(H28年度)	→	146,100	(R5年度)
			中心市街地内の起業数 (件)	5	(H29年度)	→	8	(R5年度)

